

製品名: アミリンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06865**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	IAPP
別名	IAPP; Islet amyloid polypeptide; Amylin; Diabetes-associated peptide; DAP; Insulinoma amyloid peptide
遺伝子 ID	3375.0
SwissProt ID	P10997
免疫原	抗血清はヒトアミリン由来の合成ペプチドに対して産生された。AA 範囲: 1-50

背景

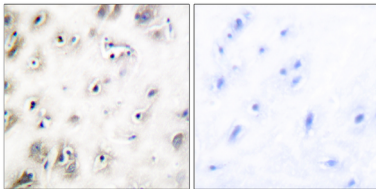
膵島アミロイドポリペプチド (IAPP) ヒト この遺伝子は、カルシトニンファミリーのペプチドホルモンの一種をコードしています。

このホルモンは、食物摂取後に膵臓のβ細胞から放出され、血糖値を調節し、満腹感のシグナルとして作用します。1型および進行型2型糖尿病の患者では、血中および膵臓中のこのホルモン濃度が低下します。このタンパク質は殺菌・抗菌活性も示します。[RefSeq提供、2016年7月],疾患: IAPPは、2型糖尿病患者の膵島およびインスリノーマに認められるアミロイドのペプチドサブユニットです。機能: インスリン刺激によるグルコース利用と筋肉へのグリコーゲン沈着を選択的に阻害しますが、脂肪細胞のグルコース代謝には影響を与えません。オンライン情報: アミリンエントリー,類似性: カルシトニンファミリーに属する。,

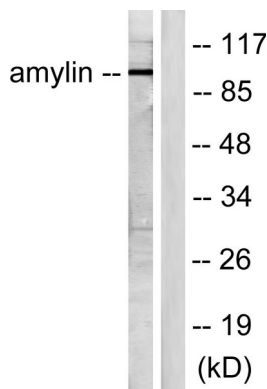
研究分野

若年成人発症糖尿病;

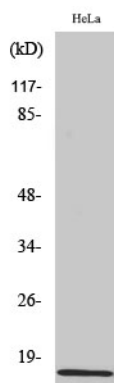
画像データ



アミリン抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



EGF 200 ng/ml 30μl で処理した HeLa 細胞ライセートのアミリン抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈したアミリンポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析